

★Excelが増えるほど遅くなる研究開発。研究データを“探せる・使える”形に変える手法

★Python未経験でもOK。高価なソフトも特別な環境も不要。現場での現実的Python活用法

～企業内R&Dデータベース構築につながる～

Live配信
または
アーカイブ配信

Excel業務をPythonで置き換える
データ解析の実践

●日時：2026年4月13日(月) 10:00～16:00

●会場：Zoomを使用したLive配信
※アーカイブ配信は4/22～5/2に実施

●講師：(株)ケンシュー 代表取締役社長 倉地 育夫 氏

【講座主旨】実験データの取り扱いについて、表計算ソフトウェア例えばExcelを用いて、各実験者が目的に応じ整理している日常に不便は無い。データの分散と属人的スキルによる整理で生じた曖昧さが避けられず、データの再利用可能性を損なっている。
近年、この課題に対して、研究データを機械可読・機械実行可能な形で扱うための指針としてFAIR 原則が2016年に公開された。FAIRは単にデータ公開だけではなく、識別子、メタデータ、相互運用、再利用条件(権利・ライセンス)まで含めて、データを機械でも扱えることを目標としている。これは、個々の研究者の研究データを有効に使い、効率的に研究を進めようとしている世界的潮流であるが、企業内の過去の研究開発で得られたデータが企業の知的資産として企業内で有効利用されているだろうか。高い有料ソフトウェアを担当者に配布する時代はもうすぐ終わる。
本セミナーは、DXにより40年以上前と大きく変化したデータ解析環境で効率よく技術開発を行うためのスキル向上のヒントを50年近く技術開発を行ってきた経験の中から多数紹介する。また、データ再利用のための工夫については、新たに開発したソフトウェアを紹介し、Excelと変わらない手続きでデータ整理する手法を公開する。このソフトウェアでは、必要に応じて表形式にデータを整理し、Excelファイルを吐き出すことも可能である。また、生成系AIでは対応できないタグチメソッドについては、解析用Pythonコードを出力可能なプログラムTMを紹介する。
セミナーの内容は、現代の技術開発現場でデータ解析するときのノウハウを多数含んでおり、しかもこれらは、昔は数千万円以上かかってでも不可能なノウハウも含んでおり、それが今ならば無料で提供された環境ですべて実施可能である(ただし、Excelが動作しているパソコン環境が整っている条件であるが。)。その実感を2005年の体験談でセミナーの最初にお伝えする。
(注：本セミナーで紹介するプログラムの一部は無償提供予定であり技術情報協会と調整中です。また、Pythonを活用する無料環境構築の手引きも準備中です。)

【講座内容】
1. 押出成形による半導体無端ベルト開発の体験談
1.1 半年後に量産を控えたとんでもないテーマ。
1.2 Wバーコレーション転移シミュレーション。
1.3 3ヶ月でカオス混合のプラントを立ち上げた。
1.4 計画通りに量産成功。
1.5 成功要因は過去の膨大なExcelデータ、最大の難問はExcelデータの山登りだった。
1.6 データオブジェクトに対する新たな潮流
2. オブジェクト指向とデータ駆動
2.1 科学と技術、知の歴史概論
2.2 オブジェクト指向概論
2.3 データ駆動概論
2.4 事例：データ駆動によるポリマーアロイ開発
3. 活用するためのAI概論
3.1 3回のAIブーム
3.2 生成系AI概論
3.3 ChatGPTをどのように使いこなすか。
4. 活用するためのPython
4.1 プログラム言語の歴史概略
4.2 Python概論
4.3 Excelファイル自動処理のヒント
4.4 データ解析にPythonを活用するヒント
5. 活用するためのR言語
5.1 R言語概論
5.2 PythonとR言語、そしてAI
6. 今どきのデータサイエンス
6.1 データサイエンスは科学ではない？
6.2 データが溢れる時代の技術開発。
6.3 データサイエンスのスキルは技術者の常識。
6.4 爆発する知をどのように吸収するのか。
7. まとめ

【質疑応答】

「Excel業務Python」セミナー申込書

(Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください)

☐ Live配信 (No.604113)

開催日:4/13

☐ アーカイブ配信 (No.604165)

配信期間:4/22～5/2

・申込書に必要事項をご記入の上、FAX (03-5436-7745) にてお申込みください。

・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) 〔 郵送(宅配便) ・ ショートメッセージ(携帯電話) ・ e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため			
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			

技術情報協会
TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.
申込専用FAX 03-5436-7745

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
2. お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。

4. 定員になり次第、申込みは締切となります